

# ほっとニュース

▼【左から】伊藤校長、杉村 日太さん(志木市在住)、近藤 剛さん(志木市在住)、金谷 大雅さん(所沢市在住)、大貫志木消防署長



## 若い力が命を救う

3月28日(月)、県立浦和北高等学校に通う杉村さん、近藤さん、金谷さんの3人が、羽根倉橋を自転車で走っていたところ、荒川で溺れている人を発見し、110番通報をするなどして、溺れていた男性を救出しました。この功績をたたえ、5月16日(月)、浦和北高等学校で志木消防署長から感謝状が贈呈されました。

▼【左から】多ヶ谷朝霞警察署長、香川志木市長、大木志木市町内会連合会長



## 犯罪被害を未然に防ぐ

非常時に迅速かつ適切な犯罪情報の提供と注意喚起をすることにより犯罪被害から市民を守るため、6月3日(金)、朝霞警察署、志木市町内会連合会、志木市の三者で、「志木市犯罪情報の住民提供等に関する協定」を締結しました。

## 手話って楽しい ⑧

### 今月の手話「暑い」

片手でうちわを持ってあおぐように振ります。暑いという気持ちを伝えたい時は表情も大切です。「夏」も同じ表現です。

耳の聞こえない人に、あいさつだけでも手話で伝えることができれば…。

さあ、いっしょに手話を学んでみましょう！



問合せ／福祉課 内線2430

志木を知り 志木を愛する 市民のかるた

## 「しき郷土かるた」 しき郷土かるたの舞台のいま・むかし

第27回

### 志木のまち・蔵づくり

かつて、本町にあった蔵造りは、川越の蔵造りなどと異なり、大火にあうことがなかったために、江戸末期から明治時代のもが多く残っていました。この地が引又宿と呼ばれ、宿場町、市場町、河岸場として栄えていた頃の様子をうかがい知ることができましたが、時代の移ろいととも姿を消しています。蔵造り(土蔵造り)は、建物を厚い壁で覆っているのが特色で、防火に優れた構造になっています。

明治10年に建築され、平成13年にいちはら親水公園内に移築復元された旧村山快哉堂も蔵造りの建物で、もとは本町通りに屋敷を構える薬店でした。現在では、市指定文化財となり、観光スポットとしても多くの人に親しまれています。



旧村山快哉堂



※「しき郷土かるた」は、志木駅東口駅前広場の舗装の一部に、絵タイルとして敷設されています。